





据付マニュアル













MAYTAG 社総代理店：日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

1 安全に関するご注意

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。


図記号の例

-  は、禁止（してはいけないこと）を示します。
-  は、強制（必ず実行しなければならないこと）を示します。

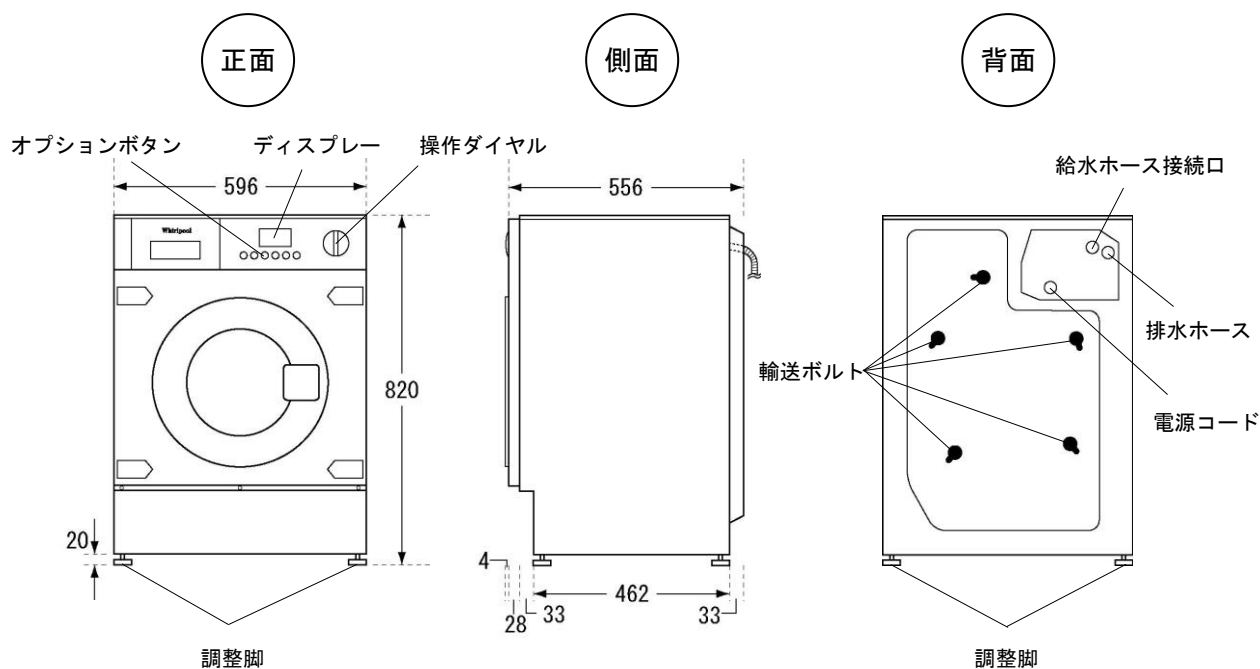
 警告	
	本製品は家庭用です。業務使用はできません。
	本製品は衣類の洗濯や乾燥用です。その他の目的で使用することはできません。
	本製品は凍結のおそれがある所では使用できません。
	浴室、ベランダ、地下などの湿気の多い場所には設置しないでください。
	絶対に分解・修理・改造を行わないでください。
	本製品は木造住宅2階以上に設置しないでください。
	設計・施工・据付は各関係法規に準じて正しく作業を行ってください。
	各作業は本据付マニュアルに従い確実に作業を行ってください。
	電気工事は必ず有資格者が行ってください。
	アース工事は必ず有資格者が行き、D種設置工事を施してください。
	電源は200V20A以上の専用回路で漏電しゃ断器を設置してください。

2 据付をされる方へのお願い

- 作業前にはこの据付マニュアルを必ずお読みになり正しく設置してください。
- 据付後は必ず試運転を行い、機器が正常に運転するかを確認してください。また振動、異常音、水漏れなどの不具合が無いこともあわせて確認してください。
- 作業後はこの据付マニュアルをご使用者に取扱説明書、保証書共にお渡しください。

 本据付マニュアルに従わなかった場合の事故・損害は一切責任を負えません。

各部の名称と仕様



製品名	全自動電気洗濯乾燥機（家庭用）	
電気定格 (*1)	単相200V 50Hz または60Hz	電動機： 540W(洗濯) / 600W(乾燥) 電熱器： 1500W(洗濯) / 1400W(乾燥)
寸法・重量	W596mm X D556mm X H820mm 85kg	
洗濯／乾燥容量	7kg / 4kg	

(※1) 本機はヘルツフリーではありません。定格ラベルを確認して正しい電源周波数にてご使用ください。

同梱部品の確認

本製品には以下の同梱部品が含まれています。据付前に正しい数量で同梱されているかご確認ください。

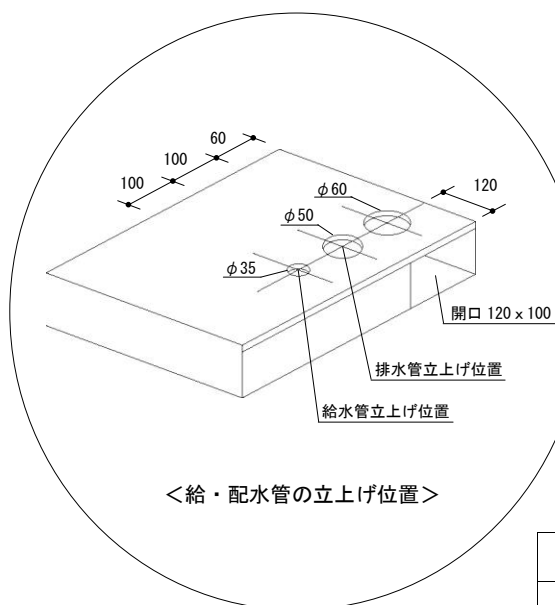
給水ホース (1.5m)	排水アダプタ	排水ホースフォーム	輸送ボルトキャップ	タイストラップ
1本	1個	1個	5個	1本
給水アダプタ	給水アダプタ用パッキン	シーリングプレート	簡易スパナ	取扱説明書・保証書
1個	1個	大中小各1枚	1本	各1部

設置場所について

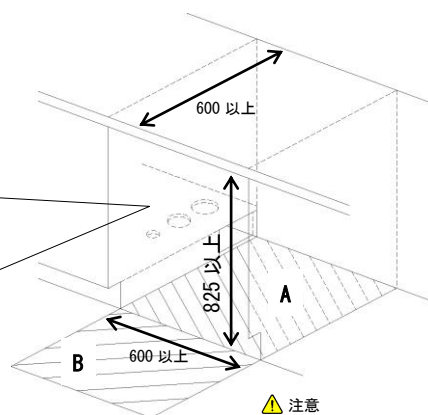
開口部寸法の確認

機器設置にあたり、下図のような開口寸法以上が確保されているかご確認ください。（据付・修理時の作業性を考慮した開口寸法を確保することをお勧めします。）

また、本体収納スペースA及びその前面部Bが同一高さにあるかご確認ください。段差がありますと、据付や修理の際に機器移動ができない場合があります。



<給・配水管の立上げ位置>



⚠ 注意
床面AとBは同一高さであることをご確認ください

消防法 基準適合 組込型			
可燃物からの離隔距離(mm)			
上方	側方	下方	後方
0	0	20※	30

※脚高さ 20 mm 含む

本製品は「消防法 告示第一号（対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準）」に適合しております。可燃物からの距離は左に掲げる距離以上を保ってください。

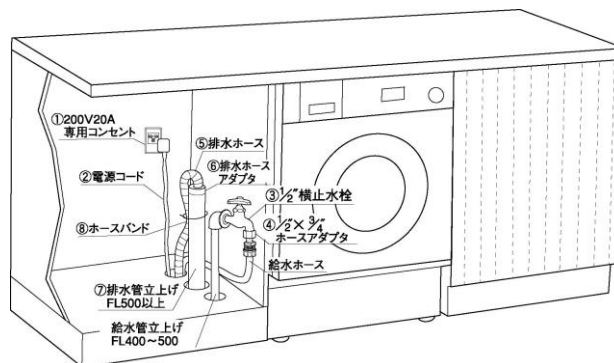
給水・排水・電源設備の確認（詳しくは準備配線配管設備図を参照ください）

本機の必要な設備は給水・排水・電源設備です。各工事は水道法、建築基準法、電気設備技術基準、各条例等の法規に準じて行ってください。また、本機は使用できる水道水圧は 0.05~0.9MPa (0.5~9.1kg/cm²) になります。一時的に高水圧になる可能性が考えられる場合は減圧弁を取付してください。

<現場準備設備>

現場準備設備		
給水設備	止水栓	1/2" TOTO T26NH13 相当
	給水立上げ	FL400~500 程度
排水設備	排水管	φ40 以上 (HT40 相当) FL500 以上 排水容量 18L/分以上
電源設備	コンセント	単相 200V 20A (アース付) 専用回路
		Panasonic 電工 WKS294 (露出型) Panasonic 電工 WN1932 (埋め込み型)

<設備概要>



設置場所について（つづき）

床仕上げの確認

機器設置にあたり、下記の点に注意してください。

- しっかりした水平な床であること。

弱い床や凹凸のある床では振動や騒音が大きくなることがあります。

- 直射日光にあたらない場所であること。

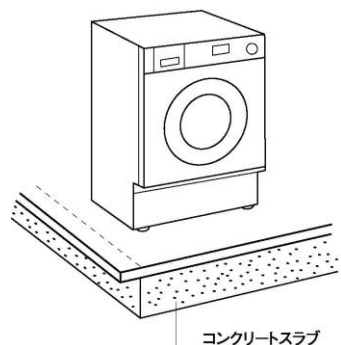
プラスチック部品の色や形が変わることがあります。

- 凍結するおそれがないこと。

- 床補強を施していること。

洗濯機の重量 (85 kg) および運転時の振動を考慮して下記の床補強を行ってください。

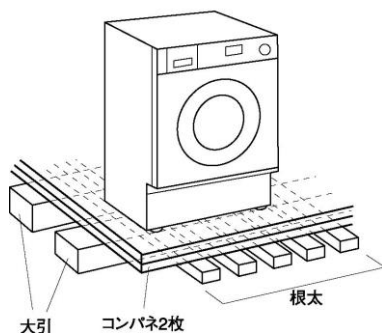
①床下コンクリート



注意

床下が直接コンクリートスラブに密着しているかご確認ください。

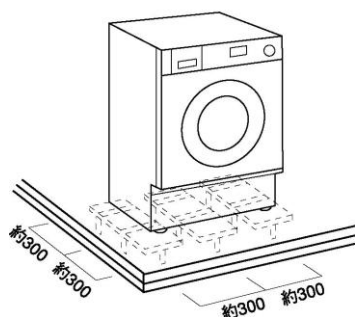
②根太+コンパネ2枚



注意

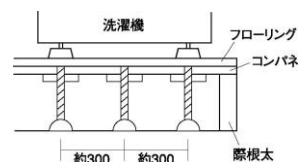
直接コンクリートで補強することが困難な場合は、根太5～6本の上にコンパネ10mm厚2枚を張り補強してください。この際、本体の脚の真下に根太がくるように施工してください。

③床用支持脚仕上げ



注意

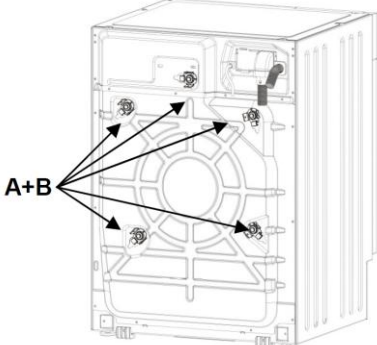
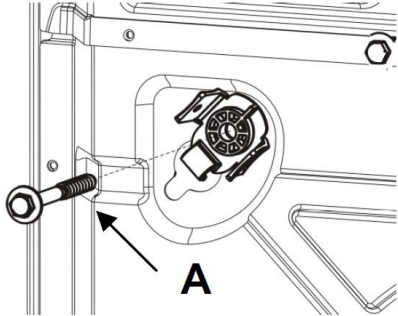
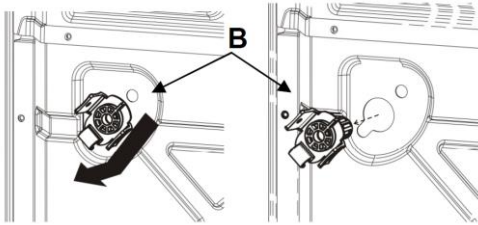
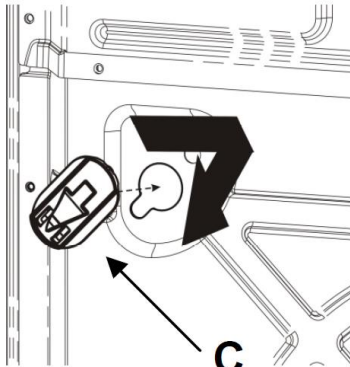
マンションなどの置床の場合、設置する床下を床用支持脚（フリースタンパー）9本で補強します。フリースタンパーは機械の真下に均等になるように施工してください。

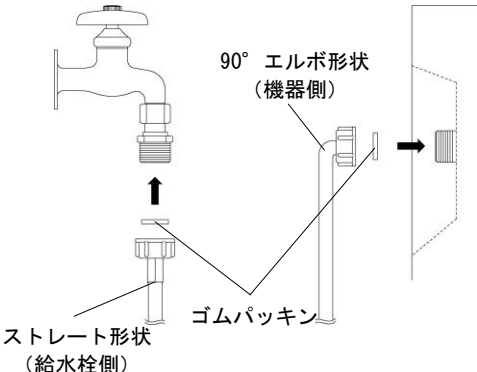
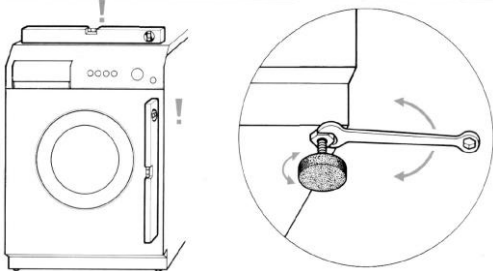
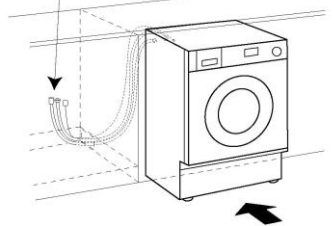
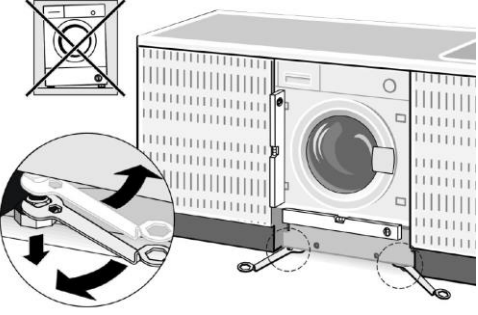
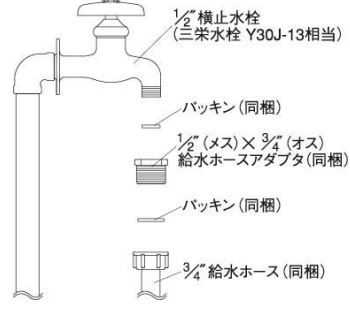


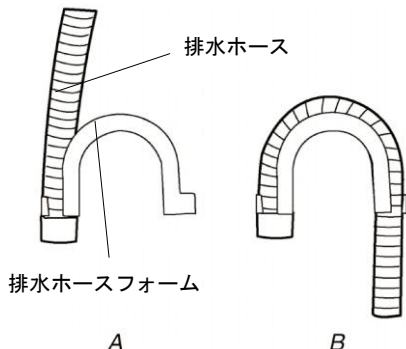
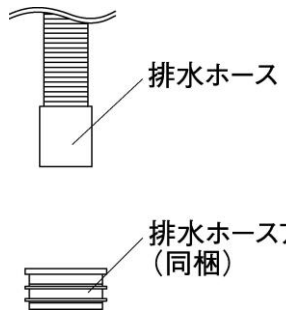
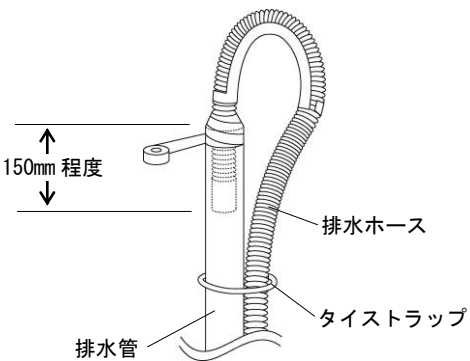
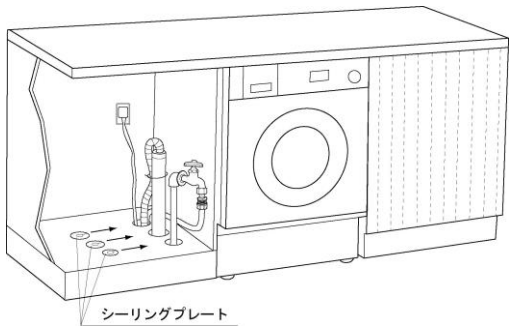
据付方法

⚠ 注意

本製品は輸送時の振動に備えて、輸送用ボルトと内部スペーサーで機器本体を固定しております。据付時には必ずこの輸送ボルトを外してください。

<p>輸送ボルトの位置</p> <p>輸送ボルトは機器背面5箇所にあります。ボルトAおよびスペーサーBの位置は右図の通りです。</p>	
<p>ボルトAの取外し</p> <p>10mm スパナ等で全てのボルトAを取り外してください。 引き抜いたボルトAは廃棄してください。</p>	
<p>スペーサーBの取外し</p> <p>全てのスペーサーBを取り外してください。 引き抜いたスペーサーBは廃棄してください。</p>	
<p>輸送ボルトキャップCの取付</p> <p>取り外したスペーサーBの部分に輸送ボルトキャップCを取りつけてください。</p> <p>⚠ 警告：輸送ボルトキャップは外部からの水の浸入や、 機器内部保護のため必ず取りつけてください。</p>	

<p>給水ホースの取り付け</p> <p>給水ホース取付口にゴムパッキンがあることを確認して、手でしっかりと閉めてください。</p> <p>取付口の方向</p> <p>ストレート形状側 : 給水アダプタ側</p> <p>90° エルボ形状側 : 機器側</p>	 <p>90° エルボ形状 (機器側)</p> <p>ストレート形状 (給水栓側)</p> <p>ゴムパッキン</p>
<p>脚調整</p> <p>事前に本体を水平な位置において、水準器を用いて機器の水平を確認してください。必要に応じて調整脚を回して高さ調整してください。また、本体移動時に調整脚が回らないようにロックナットで締め付けてください。</p> <p>⚠ 注意：レベル調整が適切に行われないと、運転時の振動が大きくなる可能性があります。</p>	
<p>ビルトイン</p> <p>隣接キャビネットにある配管引き出し穴 (φ60) より給水管・配水管・電源コードを引出しながらビルトインしてください。</p> <p>⚠ 注意：配管がよじれたりつぶれたりしないように注意してください。</p> <p>⚠ 注意：周りのキャビネットやカウンターあるいは床等を傷つけないように注意してください。</p>	<p>①配管、電源コードが絡まないように軽く引出しながら</p>  <p>②本体をゆっくり押す</p>
<p>設置後の調整</p> <p>ビルトインしたら前部調整脚のナットを簡易スパナで緩めてから調整脚を回して微調整を行ってください。また、調整が終わったらロックナットを締め付けて、調整脚を固定してください。</p> <p>⚠ 注意：レベル調整が適切に行われないと、運転時の振動が大きくなる可能性があります。</p>	
<p>給水接続</p> <p>供給水圧が0.05~0.9MPa(0.5~9.1kg/cm²)であることを確認してください。同梱の給水ホースアダプタを使用して、止水栓および給水ホースを接続してください。</p> <p>⚠ 注意：給湯接続はできません。</p> <p>⚠ 注意：水圧が高い場合は減圧弁を取り付けてください。</p>	 <p>1/2" 横止水栓 (三栄水栓 Y30J-13相当)</p> <p>パッキン (同梱)</p> <p>1/2" (メス) × 3/4" (オス) 給水ホースアダプタ (同梱)</p> <p>パッキン (同梱)</p> <p>3/4" 給水ホース (同梱)</p>

<p>排水接続①</p> <p>排水ホースをA Bの順序で、排水ホースフォームに取り付けてください。</p>	 <p>排水ホース</p> <p>排水ホースフォーム</p> <p>A B</p>
<p>排水接続②</p> <p>排水ホースに同梱の排水ホースアダプタを取り付けてください。</p> <p>⚠ 注意： 抜け防止のため、排水ホースアダプタへは排水ホースのジャバラ部分まで 150mm 程度挿入してください。</p>	 <p>排水ホース</p> <p>排水ホースアダプタ (同梱)</p>
<p>排水接続③</p> <p>排水ホースを排水管に 150mm 程度挿入してください。また排水ホースアダプタが排水管にしっかりと挿入されていることを確認してビニールテープ等で固定してください。</p> <p>⚠ 注意： 引抜テストを必ず行ってください。また、同梱のタイストラップで排水ホースをしっかりと固定してください。</p>	 <p>↑ 150mm 程度 ↓</p> <p>排水ホース</p> <p>タイストラップ</p> <p>排水管</p>
<p>シーリングプレート取付</p> <p>必要に応じて、同梱のシーリングプレートでキャビネット開口部（給水管、排水管、配管引出し穴）のすきまに対してシールを施してください。</p>	 <p>シーリングプレート</p>

据付後の点検

据付が完了したら試運転の前に必ず下記点検を行ってください。

<点検項目>

- 給水ホースが本体、給水アダプタ、止水栓に確実に取付されていますか？
- 排水ホースが排水管にきちんと固定されていますか？
- 排水管が床面から500mm以上の高さにありますか？
- 給水ホースおよび排水ホースによじれやつぶれがありませんか？
- 機器が水平に設置されていてガタついていませんか？
- 調整脚は4ヶ所ともロックナットで固定されていますか？
- 輸送ボルトは全て（5本）取り外されていますか？
- 輸送ボルトキャップは全て（5個）取付されていますか？
- 電源コンセントは200V専用回路で20A以上ですか？
- アース工事はされていますか？
- 止水栓を開いたときに接続箇所で水漏れしていませんか？

据付後の試運転

上記点検で不具合が無いことが確認できたら、必ず試運転を行ってください。

<確認項目>

- 運転開始時に給水されること
- 運転中に接続箇所水もれしないこと
- 運転中にドラムが回転すること
- 脱水サイクルでドラムが高速回転すること
- 高速回転中に本機がガタつかないこと
- 適切に排水を行えること

MAYTAG 社総代理店

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

TEL (03) 5643-1331 (代表)

FAX (03) 5643-1335

PUB.NO.16E1701